

赤十字ほっかいどう

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

2017
4月

地元に恩返し

新たな一步を踏み出す春。

4月から浦河赤十字病院で看護師となった亀谷さん、岩井さん、小田さん（写真左から）は、3月に浦河赤十字看護専門学校を卒業したばかり。

「地元で生まれて、小さい頃からお世話になった病院に恩返しする意味で、住民のみなさんが安心して暮らせるようにしたい」

あたたかな春の日差しのように笑顔がはじけます。



CONTENTS

5月は赤十字運動月間です	2・3	視覚障がい者へ声かけを	6
私たちは、忘れない。	4	わがまちの赤十字奉仕団（美唄市）	7
国内最大級の大会で救護活動	5	見て学ぼう 血液のゆくえ	8

5月は赤十字運動月間です



知ってるつもり？！赤十字

四角の中に入る数字、ご存知ですか？

答えはこのページの一番下



1. 誕生は 年前

アンリー・デュナン

～スイスの青年実業家 アンリー・デュナンが提案～

イタリア統一戦争で、傷ついた兵士が十分な手当てを受けられず息絶えていく悲惨な戦場を目の当たりにしたアンリー・デュナンは、2つのことを世界に提案し、赤十字が誕生しました。

提案① 戦場で負傷した兵士を敵味方の区別なく救護する団体が必要

提案② その救護団体が戦場で安全に活動できる国際的な取り決めが必要

アンリー・デュナンはその功績が認められ、1901年の第1回ノーベル平和賞を受賞しました。

アンリー・デュナンの誕生日である5月8日は、世界赤十字デーです。

日本赤十字社の誕生は140年前（明治10年）、日赤北海道支部の誕生は130年前（明治20年）で、以来みなさまからの寄付をもとに活動を続けています。

2. 世界 力国のネットワーク



世界193カ国（国連加盟国）のうちほとんどの国に赤十字社があり、災害や紛争などお互いを支援する体制を構築しています。

3. 道内約 人の赤十字ボランティア

赤十字が行うさまざまな事業の多くを支えているのは赤十字ボランティアで、防災訓練や災害時の炊出し、街の美化、安全法講習会の開催、募金活動などさまざまな場面で活動しています。



病院のマークだと思っていませんか？



白地に赤い十字のマークは、戦争や紛争などで傷ついた人びとと、その人たちを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を保護するためのマークです。

その使用については法律（赤十字標章及び名称の使用的制限に関する法律）で、赤十字社と法律等に基づいて認められている組織に限られており、一般の病院や医薬品などに使用することは禁止されています。

悪質な使用が認められた場合は、懲役6ヶ月以下または30万円以下の罰金が科せられます。



赤十字マークは、創設者アンリー・デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を逆にしたものが元になっています。

活動の財源は みなさまからの寄付 です

日本赤十字社は国や行政の機関と誤解されがちですが、日本赤十字社法という法律に基づいた認可法人です。そして、活動の財源は、税金や補助金ではなく、国民・道民のみなさまからお寄せいただく寄付金です。そのため5月を「赤十字運動月間」とし、活動への理解と寄付へのご協力をお願いしています。

9つの事業に活用しています



①災害救護

災害発生時には医師や看護師を被災地に派遣するほか、訓練などを通じていざという時に備えています。



②AEDなど講習会の開催

全道で年間800回開催し、延べ1万8,000人が受講しています。



③紛争や災害で苦しむ人々を救う国際活動

国際救援金の募集や海外たすけあいキャンペーンを行っています。



④ボランティア活動

炊出しや福祉施設訪問、街の美化、安全法講習などを行っています



⑤青少年赤十字

359校5万9,000人の児童・生徒が、赤十字の理念のもと、学校でのボランティア活動を行っています

⑥医療事業

道内10カ所で赤十字病院を運営

⑦血液事業

献血受付と血液製剤等の安定供給

⑧看護師養成事業

看護専門学校（伊達市・浦河町）、看護大学（北見市）を設置

⑨福祉施設の運営

小樽市と釧路市で保育所を、札幌市で視覚障がい者のための点訳・音訳図書の作製貸出施設を運営

町内会や自治会を通して寄付をお願いしています

赤十字への寄付は、主にみなさまがお住まいの地域の町内会や自治会を通してご協力をお願いしています。

なお、北洋銀行、北海道銀行、郵便局の窓口から手数料無料で送金できる振替用紙もございます。

さらに、口座振替、クレジットカードからご協力いただくこともできます。

詳しくは、日本赤十字社北海道支部までお問い合わせください（電話 011-231-7126）

ご協力お願いいたします

私 た ち は、 忘 れ な い 。

東日本大震災から6年

日本赤十字社では、被災地で悲しみを乗り越えておられる方々への想いを届けるとともに、これまでの災害で得た教訓や、支え合った経験を忘れることなく、多くの皆さまと災害への備えを考えるため、「私たちは、忘れない。」プロジェクトを行いました。

赤十字奉仕団が街頭で義援金を募集したほか、プロジェクトポスターの掲示やバッジの着用に赤十字ボランティアをはじめ、企業・団体にもご協力いただきました。

なお、東日本大震災義援金は来年3月まで受付期間を延長していますので、引き続きのご協力よろしくお願いします。



(株)北洋銀行



札幌市青年赤十字奉仕団



滝川市赤十字奉仕団



札幌管区気象台



(株)サン広告社



北海道印刷企画株式会社



北海道危機対策課

ほっかいどう防災ひろばinチ・カ・ホ

防災に関わる企業や団体が連携し、防災を知って体験してもらうイベントが、3月12日（日）に札幌で開催されました。

「震災を忘れず、多くの方に防災を考えてもらおう」と企画され、赤十字ではAEDの使い方が体験できるコーナーを展開。

会場には多くの親子連れが訪れ、AEDの使い方を体験した女の子は、「学校でもAEDについて学んだことがあるけど、ちゃんと復習したい」と話してくれました。

イベントでは、防災クイズや60日間保存可能なパンの提供などが行われ、多くの方が防災を考えるきっかけになりました。



栗山が18年ぶりの総合優勝 ～第45回北海道赤十字 スキーパトロール競技大会～

全道各地のスキー場で人が救助などの活動をしているスキーパトロール赤十字奉仕団が一堂に会し、持ち前の技術を競う大会が2月26日（日）に登別市で開催されました。

10チーム70名が参加し、傷病部位を手当して搬送用のソリに載せ、速く安全に搬送する競技など計3種目が行われました。

日ごろの活動で培った技術が競われ、栗山町スキーパトロール赤十字奉仕団が18年ぶりの総合優勝を果たしました。



搬送用のソリに載せ、速く安全に運ぶ

国内最大規模の大会で救護活動 ～旭川パトロール赤十字奉仕団～

3月11日（土）・12日（日）に旭川で行われた国内最大規模のクロスカントリースキー大会「バーサーロペット・ジャパン」で、旭川パトロール赤十字奉仕団が救護を担当しました。

大会初日は、東日本大震災から6年の日。被災地でボランティア活動した団員もあり、全員で黙祷を捧げ、活動に望みました。

団員延べ62名、スノーモービル4台体制で、途中AEDを使用する場面もありましたが、幸いにも大事には至らず、救急隊に引継ぐことができました。

同奉仕団の山田委員長は「大会が無事終わりホッとした。毎年この大会が終わると春が来る気がします」と話していました。



大会の安全は私たちが守ります

いざという時、 AED使えますか？

操作は簡単 ③step



※その後の手順は音声ガイド
ンスが指示してくれます。

step① 電源を入れる



※貼る位置は、パッドに
イラストが描かれています。

その場に居合わせた人がAEDを使う
ことが大切！

step② 電極パッドを貼る



ここがポイント！

倒れている人がいたらまずAEDを持ってきましょう。
電気ショックが必要かどうかは機械が判断してくれます。

看護師として羽ばたく ～看護専門学校・看護大学卒業式～

伊達・浦河赤十字看護専門学校、日本赤十字北海道看護大学（北見市）で卒業式・学位記授与式が行われ、合わせて159名が学び舎を巣立しました。

看護専門学校の卒業式では、伝統の制服に身を包んだ学生たちが卒業証書を受け取り、大変だった実習など仲間と支えあった3年間を振り返りました。

卒業生は、道内赤十字病院を始め、医療機関で看護師としての一歩を踏み出します。



思い出詰まった学び舎をあとに

遠くへ飛ばすんだ！ ～子どもたちが昔遊び～

日赤釧路さかえ保育園の子どもたちが、釧路市赤十字奉仕団のボランティアらと竹とんぼやコマ回しなど昔の遊びをして楽しみました。

お手本で飛ばした竹とんぼが、ホール天井の蛍光灯カバーにひっかかる場面もありましたが、子どもたちには格好良く見えたようで、「カバーのところまで飛ばしたい！」と挑戦。遠くへ飛ばそうと力んだためかえって飛ばず、ボランティアに手を添えて教えてもらいました。

遊んだ後は、子どもたちがお礼に「金のガチョウ」の劇を披露し、ボランティアらは「孫のようでかわいい」と目を細めていました。



遠くへ飛ばすコツを伝授

視覚障がい者へ声かけを

昨年、東京と大阪で、視覚障がい者が駅のホームから転落、電車にはねられるという痛ましい事故が相次ぎました。視覚障がい者に点字図書や録音図書の作製・貸し出しを行っている日本赤十字社北海道支部点字図書センターでは、このような事故を防ぐため、「一人で歩いている視覚障がい者に積極的な声かけを」と呼びかけています。

出歩く機会が多くなるこれからの季節、あなたの声かけが視覚障がい者の安心につながります。



駅や交差点などでひとり歩きの視覚障がい者を見かけたら

- ①なるべく正面から声をかける
- ②「どのようにお手伝いすればいいですか？」と尋ねる
相手の希望や意向を尊重し、ガイドの経験があってもなくても、その場で相手に教えてもらいましょう。
- ③相手の半歩先に立ち、「ひじ」を握ってもらい、一緒に歩く
肩に手をかけてもらう方法もあります。相手の希望に合わせましょう。
- ④段差などがあるときは、必ずいったん立ち止まって状況を説明
段差、階段、スロープ、電車の乗降などは、必ずいったん立ち止まって、「階段を降ります」などと説明しましょう。

※危なくない場所をスイスイ歩いている人に、無理に声をかける必要はありません。

また、鉄道の場合、駅員に頼めばサポートしてもらえます。

わがまちの赤十字奉仕団

～美唄市赤十字奉仕団～

美唄市赤十字奉仕団は、昭和39年3月25日に結団し、平成29年で創立53年を迎えます。

現在の団員数は387名で、主な活動として市開催の防災訓練での炊出しをはじめ、市立病院前庭での花壇作りは30年続いています。周りに白いベコニア、中には赤いベコニアで、レッドクロスのマークに植えて、赤十字奉仕団のPRと通院される患者様に喜んでいただければとの思いを込めています。

その他には、美唄駅前でのクリスマスツリーポイント灯式があり、これは子どもたちの情操教育と駅前振興を目的としています。子どもたちは、思い思いの願いを込めた短冊を、親御さんと力を合わせて、一生懸命松の木に吊るしています。

また、災害が発生したときには街頭募金を実施。さらに、養護学校でのボランティア活動、2月には、美唄雪んこまつりでの自衛隊員への炊出しなど、様々な活動を通して日本赤十字社の大切さをPRするとともに、今後も奉仕団の信条のもと奉仕活動につとめて参りたいと思っております。

委員長 藤井 伊知郎



30年続く市立病院前庭の花壇整備



ツリーの飾り付けには毎年多くの親子が参加

たくさんのご協力ありがとうございました。

～活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します～ (敬称略)

金色有功章

～社資納入額50万円以上～

- 【札幌市】 信太 紀人
- 【小樽市】 吉田 月江
- 【札幌市】 陸上自衛隊 真駒内駐屯地隊員一同
- 【砂川市】 (株)照運
- 【千歳市】 一般社団法人 日本血液製剤機構 千歳工場
- 【支 部】 一般社団法人 北海道指定自動車教習所協会
- 【支 部】 (株)どうきゅう

銀色有功章

～社資納入額20万円以上～

- 【札幌市】 佐藤 厚子
- 【札幌市】 由利 賢次
- 【札幌市】 札幌市赤十字奉仕団真駒内分団
- 【札幌市】 庄内こどもの歯科 庄内 喜久子
- 【千歳市】 太平洋商事株式会社

社長感謝状

～金色有功章受賞後さらに50万円以上～

【鷹栖町】 西野 耕一郎



8月に旭川で ～日本赤十字社北海道支部 創立130周年記念赤十字大会～

赤十字思想の普及と事業の発展、そして北海道支部創立130年を記念して、8月9日（水）に旭川市で開催します。

この大会では、日頃赤十字活動にご協力いただいている奉仕団員などが参加し、赤十字活動資金として多額のご協力をいただいた方への表彰などが行われます。



活動資金にご協力をいただいた方への表彰（前回大会）

見て学ぼう 血液のゆくえ ～血液センター見学のご案内～

北海道赤十字血液センター（札幌市西区二十四軒）では、献血でいただいた血液が、どのようにして医療機関に届けられるかが学べる見学ゾーンを設けています。

検査や血液製剤製造の様子をガラス越しにご覧いただき、最後は大きなけんけつちゃん像と記念撮影。

個人でも団体でも受け付けていますので、みなさまぜひお越しください。

詳しくは、血液センターホームページをご覧ください。



【見学可能時間】 平日10:00～16:00

【お問い合わせ】 北海道赤十字血液センター 総務企画課（電話：011-613-6652）

日本赤十字社定款が改正されました（平成29年4月1日施行）

日本赤十字社は、毎年継続的に活動資金に協力いただける方々（「社員」と呼んでいます）により活動が支えられていますが、よりわかりやすい名称とするため、これまでの名称に加え次のとおり一部変更となりました。

定款変更前	定款変更後
社 員	社員（会員または協力会員）
社 費	社費（会費）

発行日 平成29年4月20日

発行元  **日本赤十字社** 北海道支部
Japanese Red Cross Society

札幌市中央区北1条西5丁目
Tel: 011-231-7126

 公式フェイスブックで情報発信中!
<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc>

 ホームページで
www.hokkaido.jrc.or.jp/ 